

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)

【公開番号】特開 2005-209633 (P2005-209633A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-030
 【出願番号】特願 2004-368884 (P2004-368884)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 9 月 28 日 (2007.9.28)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【発明の名称】表示装置の作製方法
 【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

第 1 の基板上に発光素子を形成し、

第 2 の基板上に枠体を形成し、

前記枠体で囲まれた領域に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、

前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、

前記吸湿物質を含む層が前記発光素子と重なり、且つ前記発光素子と、前記吸湿性物質を含む層と、前記枠体とを内側に封じ込めるように、前記第 1 の基板と前記第 2 の基板とをシール材によって固着することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 2】

第 1 の基板上に発光素子と駆動回路とを形成し、

第 2 の基板上に枠体と、前記枠体を囲むシール材とを形成し、

前記枠体と前記シール材の間に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、

前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、

前記吸湿物質を含む層が前記発光素子と重なり、前記駆動回路と重ならず、且つ前記発光素子と、前記駆動回路と、前記吸湿性物質を含む層と、前記枠体とを内側に封じ込めるように、前記第 1 の基板と前記第 2 の基板とを前記シール材によって固着することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 3】

第 1 の基板上に発光素子と駆動回路とを形成し、

第 2 の基板上に枠体を形成し、
前記枠体で囲まれた領域に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、
前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、
前記吸湿物質を含む層が前記発光素子及び前記駆動回路と重なり、且つ前記発光素子と、
前記駆動回路と、前記吸湿性物質を含む層と、前記枠体とを内側に封じ込めるように、
前記第 1 の基板と前記第 2 の基板とをシール材によって固着することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 4】

第 1 の基板上に発光素子と駆動回路とを形成し、
第 2 の基板上に枠体を形成し、
前記枠体で囲まれた領域に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、
前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、
前記吸湿物質を含む層が前記駆動回路と重なり、且つ前記発光素子と、前記駆動回路と、
前記吸湿性物質を含む層と、前記枠体とを内側に封じ込めるように、前記第 1 の基板と
前記第 2 の基板とをシール材によって固着することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 5】

第 1 の基板上に発光素子と駆動回路とを形成し、
第 2 の基板上に第 1 の枠体と前記第 1 の枠体の内側に形成された第 2 の枠体とを形成し、
前記第 1 の枠体と第 2 の枠体との間に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、
前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、
前記吸湿物質を含む層が前記発光素子と重ならず、前記駆動回路と重なり、且つ前記発
光素子と、前記駆動回路と、前記吸湿性物質を含む層と、前記第 1 の枠体と、前記第 2 の
枠体とを内側に封じ込めるように、前記第 1 の基板と前記第 2 の基板とをシール材によっ
て固着することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 6】

第 1 の基板上に発光素子を形成し、
前記発光素子を囲んで枠体を形成し、
前記枠体で囲まれた領域に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、
前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、
前記発光素子と、前記吸湿性物質を含む層と、前記枠体とを内側に封じ込めるように、
前記第 1 の基板と第 2 の基板とをシール材によって固着することを特徴とする表示装置の
作製方法。

【請求項 7】

第 1 の基板上に発光素子と駆動回路とを形成し、
前記駆動回路を囲んで枠体を形成し、
前記発光素子と前記駆動回路とを囲んでシール材を形成し、
前記枠体と前記シール材の間に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、
前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、
前記発光素子と、前記駆動回路と、前記吸湿性物質を含む層と、前記枠体とを内側に封
じ込めるように、前記第 1 の基板と第 2 の基板とを前記シール材によって固着することを
特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 8】

第 1 の基板上に発光素子と駆動回路とを形成し、
前記発光素子と前記駆動回路とを囲んで枠体を形成し、
前記枠体で囲まれた領域に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、
前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、
前記発光素子と、前記駆動回路と、前記吸湿性物質を含む層と、前記枠体とを内側に封
じ込めるように、前記第 1 の基板と第 2 の基板とをシール材によって固着することを特徴
とする表示装置の作製方法。

【請求項 9】

第 1 の基板上に発光素子と駆動回路とを形成し、
前記駆動回路を囲んで枠体を形成し、
前記枠体で囲まれた領域に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、
前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、
前記発光素子と、前記駆動回路と、前記吸湿性物質を含む層と、前記枠体とを内側に封じ込めるように、前記第 1 の基板と第 2 の基板とをシール材によって固着することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 10】

第 1 の基板上に発光素子と駆動回路とを形成し、
前記発光素子と前記駆動回路とを囲んで第 1 の枠体を形成し、
前記発光素子を囲んで第 2 の枠体を形成し、
前記第 1 の枠体と第 2 の枠体との間に、液状の吸湿性物質を含む組成物を滴下し、
前記組成物を固化することにより吸湿性物質を含む層を形成し、
前記発光素子と、前記駆動回路と、前記吸湿性物質を含む層と、前記第 1 の枠体と、前記第 2 の枠体とを内側に封じ込めるように、前記第 1 の基板と第 2 の基板とをシール材によって固着することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 11】

請求項 1 乃至請求項 4 及び請求項 6 乃至請求項 9 のいずれか一において、前記枠体と、前記シール材は同じ物質を用いて形成することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 12】

請求項 5 または請求項 10 において、前記第 1 の枠体及び第 2 の枠体と、前記シール材は同じ物質を用いて形成することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 13】

請求項 1 乃至請求項 12 のいずれか一において、前記組成物の固化は加熱により行うことを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 14】

請求項 1 乃至請求項 13 のいずれか一において、前記吸湿性物質を含む層は透光性を有することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 15】

請求項 1 乃至請求項 14 のいずれか一において、前記組成物を、不活性気体雰囲気中で滴下することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 16】

請求項 1 乃至請求項 15 のいずれか一において、前記組成物を、減圧下で滴下することを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項 17】

請求項 1 乃至請求項 16 のいずれか一において、前記発光素子に電氣的に接続された薄膜トランジスタを有し、前記薄膜トランジスタは半導体層と、ゲート電極層と、前記半導体層と前記ゲート電極層とに挟まれたゲート絶縁層とを有し、前記半導体層は、マイクロクリスタル半導体、アモルファス半導体、多結晶半導体のいずれかを用いて形成されることを特徴とする表示装置の作製方法。